

DECENCIA「第34回全日本DM大賞」で銅賞を受賞

DECENCIAはこのほど、日本最大級のダイレクトメール広告賞「第34回全日本DM大賞」(主催：日本郵便)にて、2019年に実施した取り組み「3日間チャレンジキット」が銅賞を受賞した。

「3日間チャレンジキット」は、2019年10月に実施された無料サンプルプレゼントキャンペーンで、日本初の敏感肌用シワ改善美容液の発売をきっかけに、これまでディセンシアと接点がなかった敏感肌女性に認知を広げようとするべく考案された。敏感肌のサンプルを無料で提供、使用できるように工夫した。また、毎日アイテムのベルチェック。このような無料サンプルは、多くの断サイトを入るプルは、多くの口に、自身の人に使われる肌のバリア会である一方、肌・シワレベル旅行等の携帯用を、ユーモラスなケアとして保管されがち。ラスなキャラクタがナビゲートする形で判定するキープを持った人に届く。ランペーン日連続で使用しと診断されたてもらうよう、アドベントカレンダーには3日間



また、毎日アイテムの組み合わせを変えて使える

設計にし、新商品だけでなくアと新商品の魅力を存分に伝えることに成功。これまで接点のなかった顧客に、新商品に加え、他商品を購入してもらえ、大きなきっかけとなった。また、SNSで話題になった。

3年連続で健康経営優良法人に認定

ユニ・チャーム

ユニ・チャームは、優良な健康経営を実践する法人を経産省と日本健康会議が顕彰する「健康経営優良法人2020(ホワイト500)」に3年連続で認定された。

同社は「健康宣言の社内外への発信」「適切な働き方実現に向けた取り組み」など、21の評価項目全てにおいて基準に適合した。

健康維持・増進の取り組みとして、全社員に検診・子宮頸部がん検診年1回の健康診断受診を会社負担で実施して促進し、2009年から2019年までの10年連続で受診率100%を達成しているほか、健康リテラシー向上のため保健師による健康座談会を開催している。さらに今年には生活習慣病リスクの高い社員向けに生活改善研修を行い、その取り組みを加速させている。

働き方改革推進では、2017年から月4回取得可能な「在宅勤務制度」、22時以降の勤務の原則禁止、勤務終了から翌日の勤務開始まで8時間以上の休息の義務化、10時間以上の休息を推奨する「勤務間インターバル制度」を導入した。

さらに、2018年からは「副業制度」や「キャリア形成支援制度」、2019年からは仕事と介護の両立を支援する環境をサポートする「フレキシブル制度」などを取り入れ、社員一人ひとりが能力を最大限に発揮していけるように働ける制度の拡充に努めている。



ツバキスタイル

環境対策樹脂を使うことは、「SDGsの実践」そのもの

ツバキスタイルは、環境にやさしい素材を使用した容器を通じて、環境配慮に取り組んでいる。藤村太郎代表取締役が話を伺った。

環境配慮に向け、容器メーカーとして、油由来の樹脂が問題視されている。問題となり、従来の石油由来の樹脂が問題視されている。

世界中の企業が共通の目標として掲げる「サステナブルな社会」の表現に向け、化粧品・トイレタリー容器に関わる企業として、できることはなにか。近年、海洋プラスチックごみが世界的な社会問題となっている。

容器

また、容器メーカーで初となる「再生PET」容器製造のUL認定(米国認証機関が策定する製品安全規格)を国内すべての自社工場取得しており、これらの自社工場製造された全ての容器には、UL管理下において製造された証となる「ULリサイクルPETマーク」を載せることができる。

国内機関の調査では、石油由来の樹脂に

比べ、「バイオマスPET」は約70%のCO₂を削減でき、「再生PET」も約63%のCO₂を削減できることが明らかになっている(国内で生産消費し、同じ場所で焼却した場合の樹脂1kgあたりのCO₂量)。

自然環境を破壊し続ける「石油樹脂」を使用した容器と、見た目や強度、性質まで全く変わらない「環境対策樹脂」を使用した新しい容器。SDGsへの取り組みが求められる今、環境にやさしい選択をすることは企業にとって「SDGsの実践」そのものであり、未来の世代へ美しい地球を残していくための最良の道といえるのではないだろうか。

現在、当社だけでなく、容器メーカー各社様にも協力をお願いしている。

